

歯つらつ

2017年10月

259号

～発行所～

齋藤歯科診療所
由利本荘市美倉町 47-1

フシノヨイハニ

0120-24-4182

FAX 0184-24-1440

www.saitoshika.net

～診療時間～

曜日:月曜日～土曜日
時間:午前 9:00～1:00
午後 2:00～6:00

～休診日～

日曜・祝日
第2・4木曜日

前号では矯正治療の不正咬合について取りあげました。今号では具体的な治療方法をお話し致します。

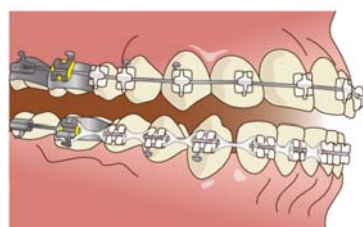
矯正治療を希望された場合、まず問診、診査、レントゲン撮影、模型の採得などを行います。その資料を基にして咬み合わせや歯並びの異常の原因を分析し、治療方法を決定します。

矯正治療には、Ⅰ期治療とⅡ期治療があります。Ⅰ期治療は、永久歯列完成前の小児に対して行われ、Ⅱ期治療は永久歯列完成後に行われる本格的な矯正治療です。

小児の不正咬合は習癖（指しゃぶりや舌癖など）によるものがあり、それを改善させる為の装置を使用することが

歯科矯正治療 シリーズ2

あります。成人矯正では多くの場合左図のようなマルチブラケット装置を用いて治療を行います。



マルチブラケット装置

顎の骨に変形等がある場合には、手術を併用した矯正治療が必要となる例もあります。歯を動かす動的治療期間には、治療の種類や咬み合わせの状態により個人差があります。また、歯を動かすという

ことは、骨や歯自体にも影響を及ぼします。そのため、歯を動かして治療終了という訳にはいきません。

動的治療終了後、後戻りしないように歯を安定させるための保定装置を用いた保定期間が必要です。

保定期間は、動的治療期間と同じくらいの期間がかかり、その間も定期的なメインテナ



保定装置

ンスが必要となります。そのため、保定終了までが矯正治療期間となります。

矯正治療中は、違和感や痛みが出ることもあります。歯が動いている証拠ともいえます。治療期間は長くかかりますが、より良い咬み合わせを構成するために、焦らず継続した治療を行うことが必要です。

— 新田 —

10月の休診日は右記の通りです。14日(土)は午前中のみの診療です。患者様にはご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願い致します。

日	月	火	水	木	金	土
1 休診	2	3	4	5	6	7
8 休診	9 休診	10	11	12 休診	13	14 午後 休診
15 休診	16	17	18	19	20	21
22 休診	23	24	25	26 休診	27	28
29 休診	30	31	10月			

休診日のお知らせ

ある日のスタッフ

今月は歯科衛生士の畠山淳子です。

先日、横手にある近代美術館の絵画展に行ってきました。

台風が去った後で、まだ雨風の強い日でしたが、開催期間の最終日でしたので、思い立って行くことにしました。

今回は、国立西洋美術館が所蔵する女性の絵を主に展示するミュージズ展でしたが、絵そのもの

のが素晴らしいのはもちろんのこと、三百年以上前の絵が綺麗に保存、修復されていることにも驚きました。

とは言っても、私は絵画に造詣が深い訳でも絵心がある訳でもありませんが、描くことが出来ない分憧れの気持ちがあり、鑑賞しに行きます。

いいな、綺麗だな、すごいなと思うものに、日常から少し離れて接する時間はとても贅沢な時間だと思えます。また興味のある展覧会が開催されたら、休

みを利用して見に行きたいです。



口臭原因と対策

毎日ブラッシングをしても口臭が気になることがあります。口臭は「口あるいは鼻を通して出てくる気体のうち、限度を越えて臭うもの」とされています。

◎口臭の原因

1. 歯周病：進行していくと歯周ポケットが深くなり、歯肉からの出血や膿が出て口臭が酷くなつていきます。



2. ムシ歯：進行し放っておくと穴が空いて食べ物が入りやすくなり、口腔内細菌が増えてしまいます。

3. プラークと歯石：歯の表面に付着しているプラークは細菌の集まりで取り除けない状態が続くと歯石となります。歯石はブラシでは除去できず、口臭の原因となります。

4. 舌苔：舌の表面に細菌が集まり白く塊となったものです。口臭の原因の多くは舌苔が占め

ているといわれています。

5. 唾液の減少：年齢や薬の副作用により唾液が減少すると洗い流す、細菌の増殖を抑える、粘膜の保護などの作用が低くなつてしまいます。

6. 不良冠：かぶせた冠に穴があいたり歯との境目に隙間ができるると磨きにくくなり、プラークがたまりやすくなります。

7. 義歯：材質に色や臭いが付きやすく、食後に清掃をしないと臭いの原因となります。

8. 全身疾患：糖尿病、尿毒症、肝硬変、肝癌などお口の中以外の疾病による場合もあります。

口臭の原因の9割は口の中にあるといわれています。毎日のブラッシングに加え、舌のケアを行い、お口の中を清潔に保つ習慣をつけましょう。また、歯石除去、定期検査、定期処置など専門家による治療も受けることをお勧めします。

— 長谷山 —